

日本の学校究竟是什么样子？

にほん がっこう

日本の学校ってどうなってるの？

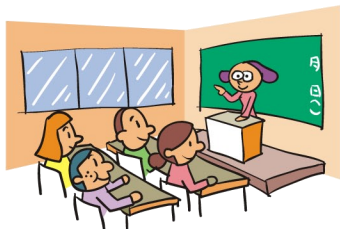
日本学校内情专集

にほん がっこうじじょうとくしゅう
日本の学校事情特集

五月，樱花已经凋零，学生们升学及进入新学年的紧张心情也多少轻松了一些；相信您刚刚进入日本学校的孩子或是孙子，对学校生活也开始适应了吧？与此同时，想必您和孩子也会对那些中国学校和日本学校的差异感到困惑吧。

包括短期大学在内，日本的大学升学率为 47.8%，也就是说，每两个年轻人中，就有一个大学生。因此常常听到这样的声音：比起中国来，日本的学校根本不学习！的确，在教育方针上，日中两国确实是存在着不同之处。而且，近几年的日本学校，也受到了文部科学省“宽裕教育”教育方针的影响。

在此期，我们就为那些第一次进入日本学校、以及今后将进入日本学校的读者，准备了这个《日本学校内情专集》。围绕日本学校的普遍制度及内情，特别是小学校内情，给大家做一些介绍。



5月、桜も散って入学や新学年の緊張感もやや落ちつき、日本の学校に通い始めたお子さんやお孫さんたちも少し学校生活に慣れてきた頃ではないでしょうか。と同時に、中国の学校と様子が違うことに親も子どもも戸惑うこともあるのではないかと思います。

短大を含めれば 47.8% の大学進学率、青年の二人に一人は大学生という日本ですが、中国と比べて「日本の学校って勉強しないなあ」という声をよく聞きます。確かに中日の学校教育の方針には違う面がありますね。さらに、ここ数年の文部科学省の「ゆとり教育」施策の影響もあるのです。

今号は初めて日本の学校を体験する方、またこれから体験するだろ方のために「日本の学校事情」特集を組みました。学校制度や学校事情全般、特に小学校の事情についてご紹介しましょう。

日本の学校制度及最近の学校内情

日本の学校制度と最近の学校事情

◆日本の学校制度与升学率

相信许多人都知道，在日本，拥有实行义务教育的小学、初中（分别为 6、3 年）和紧跟其后的高中（3 年）、大学校（4 年）。大学校中，还包括短期大学（2 年）。除了这些学校以外，还有初中或高中毕业后就有资格升入的、主要是学习掌握职业性专门技术的专科学校、高等职业技术专门学校、高等专门学校以及专门学校等。

虽然初中毕业以后的出路，可以有多项选择，但现在日本将近 95% 的初中毕业生，都选择升入高中，使升学率几乎接近义务教育的水平。进入社会的途径是多种多样的，虽然有的单位采取注重实力的方针，但可以说众多的单位实际上在录用的时候，侧重的条件仍然是对方的“学历”。

◆最近の学校内情

在文章开头提及的“宽裕教育”这一方针政策，是文科省为解决升学竞争的产物“填鸭式教育”所带来的“落后生”现象、“欺侮”及“拒不到校”等教育界存在的社会化问题而推行的。

根据此方针，近几年文科省分几次对“学习指导要领”（学校教学内容及教学方法的规定）进行了改订。2002 年，颁发了此项改定的最终方案。其内容为：学校每周五天课、删减三成学习内容、导入“综合学习”课程（通过身体力行这一学习方式，掌握实践调查的方法、通过与地区居民的交流吸取知识、结合教科书内容触类旁通地进行综合性学习）。各个学校根据此方针，重新制定了教学指导方案。

对于“宽裕教育”，人们所持的意见有赞同也有反对，无论从学校还是父母、包括一些专家，都从各自的角度对此展开了讨论。归根结底，高考制度本身不改变的话，应试时对考生学习实力的要求也不会发生改变。因此，为了让学生学习掌握那些知识，学校就不得不被迫采取周六给学生补课、将三学期制改为两学期制，以确保学生的学习时间等应对措施。另外，为了能考入“更好的大学（有利于就职

◆日本の学校制度と進学率

ご存じの方が多いと思いますが、日本では義務教育の小中学校(6・3年)とそれに続く高校(3年)、大学(4年)があります。大学は短大(2年)もあり、このほかにも中学或いは高校を卒業して入学でき、主に職業上の専門技術を身につけるための専修学校、高等職業技術専門学校、高等専門学校、専門学校などもあります。

中学を卒業すると進路はいくつかの選択肢に分かれますが、現在の日本では中学卒業者の 95% 程度が高校に進学するという義務教育並みの高校進学率です。社会に出ているには様々な道筋があり、実力主義を取り入れられている職場も若干あるとは言っても、まだまだ実際には「学歴」という採用条件が付く職場が多いのが現状でしょうか。

◆最近の学校事情

巻頭の「ゆとり教育」は、受験競争の中で「詰め込み教育」といわれる教育課程についていけない「落ちこぼれ」、「いじめ」「不登校」等、社会問題化していた教育現場の問題への対処として、文科省が推進してきた策です。

この方針により、ここ数年、「学習指導要領」(学校で何をどう教えるかを定めたもの)が何回かに分けて改訂され、2002年、最終的な改訂がなされました。内容は、完全学校週5日制、学習指導内容の3割を削減すると、総合学習の導入(体験を通した学習方法で、調べ方を身につけたり地域の人との交流を通して学んだり、各教科の学習で得た知識を結びつけて総合的に学習する)等の指針が出され、各学校はこの指針により指導計画を立て直すこととなりました。

この「ゆとり教育」については賛否両論があり、学校の立場からも親の立場からも専門家の

的大学)”，有的家庭还不敢怠慢地让孩子念私塾。

面对这种状况，文科省为了取得平衡，现在又开始推行与“宽裕教育”相并行的、追求“牢固的学习实力”和“重视学习实力”的看似互相矛盾的教育方针。在这种迂回曲折的背景下，学校正在波动的现实中，摸索建立其应有的教育形态。同时，毋庸讳言，父母和孩子们也因为这种波动而倍感困惑和苦恼。



立場からもいろいろな議論が出されました。結局、大学入試自体が変わらない以上、大学受験時点で要求される学力も変わらないわけで、それを身につけるために学校の方も土曜日に補習をしたり、従来の三学期制から二学期制にして学習時間の確保をしたりと現実への対応を求められています。また、「よりよい大学(就職に有利な大学)」を目指そうとする家庭では塾などを利用しての受験対策を怠りません。

このような現状に対し、文科省も「ゆとり教育」とのバランスを取るよう「確かな学力」「学力重視」といった政策を並行して押し進めていくという一見矛盾した状況になっています。こうした紆余曲折を背景に、学校現場は教育のあり方を模索して揺れ動いているというのが現状でしょう。また、親も子どもの教育について迷い、悩み続けているというのが正直なところでしょう。

日本の学校生活 ～日本の学校生活是怎样的？父母们的职责又是什么？～

日本の学校生活 ～日本の学校生活って？親の役割って何？～

◆学費

日本公立小学、初中的学费、教科书等，基本上免费。但午餐及教具(音乐课用的竖笛、笔记本、辅助教材等)、修学旅行等经费，要另外征收。只是对于接受生活保护以及低收入的家庭(收入未达到规定额)，有“就学援助”制度(援助一部分必要经费)。请填写教育委员会颁发的《就学援助费申请书》中的必要事项，然后提交给校方。

◆学校活动

日本の学校 4 月开学。实施 3 学期制的话，各学期之间分别放暑・寒・春假(两学期制的话，还要加上秋假)。每年学校开展的活动，因地域的不同而有所差异，一般从入学典礼开始，各学期都有开学典礼、结业式、毕业典礼、健康诊断、家访、郊游、授课观摩、运动会、修学旅行、有的学校甚至还有学习汇报会(唱歌及话剧表演等)。

这些活动，很多都要求家长参加和协作。

◆学費

日本の公立小中学校では、授業料、教科書代などの学費は基本的には掛かりませんが、給食費や教具類(音楽のリコーダー、ノート、補助教材等)、修学旅行などの経費は別途徴収されます。但し、生活保護家庭や所得の低い家庭(一定額未満という規定あり)に対しては「就学援助」(必要な経費の一部が援助される)制度がありますので、教育委員会が配布する「就学援助費申請書」に必要事項を記入して、学校に提出してください。

◆学校行事

日本の学校は 4 月始まりで、3 学期制の場合、学期間に夏・冬・春休み(2 学期制では秋休みがこれに加わる)が入ります。年間行事は地域によって多少の違いはありますが、入学式に始まり、各学期の始業式、終業式、卒

入学典礼及毕业典礼家长是要参加的。郊游和开运动会的时候，由于学校没有午餐，需要给孩子带上便当。开运动会的时候，一般家长和孩子共进午餐。授课观摩是以家长为对象开设的公开课，它是了解孩子平常在校表现的良机。另外，家访是班主任对各学生家庭分别进行 15 分钟左右的走访，与学生家长就孩子在学校及家中的表现交换意见（也有的学校不实施家访）。

其外还有，老师与各班级的家长们，共同就学生的在校表现（学习、生活、人际关系及其它事宜）及在家表现等，召开交换意见的“恳谈会”（监护者会）。也有就相同内容，教师与家长一对一进行个别面谈、或是分小组进行的小组面谈等。通过这些活动，不但可以了解在家无法看到的孩子的另一面，也可以加强与地域的纽带关系、同时也是请老师及其他家长帮助自己分担个人无法解决的问题的良机。



◆与学校的联络方式

平日学校与各个家庭的联络是十分频繁的。当孩子迟到或缺席时，务必给学校打电话；若是事先决定的，则要通过联络帐与老师联系。另外，上课时间内，孩子是不能离开学校的，有特殊事情或是身体不舒服需要早退时，家长要前去学校接孩子。

除此之外，每个班级都有“电话联络网”。当学校或班主任老师有急事需要联络全班的时候，可以通过这种方式将联络内容从一家传到下一家。当起用“电话联络网”、电话打到自己家中时，一定要将联络内容传达给下一家。如果担心自己的日语不熟练的话，最好事前告知班主任。

◆家长要出面工作！

虽然学校是孩子去的地方，但家长仍然要时常去学校，则是日本学校的特点。除了参加活动以外，还要从事某些作为监护人的工作。在日本的学校里，有一种叫做“PTA”的教师与家长的组织（名称因学校不同而有所不同。有的学校没有这种组织）为孩子们的事着想，开展各项对他们来说有必要的活动，是 PTA 的使命。而为了使组织能够正常运营，一般每年

業式、健康診断、家庭訪問、遠足、授業参観、運動会、修学旅行、学校によっては学習発表会(歌や劇などの発表)等がある

ところもあります。
行事には、親の参加や協力が求められるものも多々あります。入学式、卒業式は親も参加します。遠足や運動会の際は給食がないので親が弁当を持たせなければなりません。運動会は親と一緒に昼食を取るのが一般的です。授業参観は保護者対象の公開授業で、日頃の学校での子どもの様子を知りたい機会です。また、家庭訪問では担任の教師が各児童の家庭を 15 分程度ずつ訪問し、学校や家庭での子どものことについて話し合います(実施しない学校もある)。

他に、教師とクラスの保護者が集まって子どもの学校でのこと(学習、生活、人間関係、その他)、家庭での問題などを皆で話し合う懇談会(保護者会)があります。同じような内容を教師と保護者が一対一で行う個人面談や小グループで行うグループ面談などもあります。これは、家では見えない子どもの一面を知る機会にもなりますし、親同士ひいては地域のつながりや、ひとりで解決できない問題を教師や他の保護者と共有する機会にもなります。

◆学校との連絡

日常的にも学校と家庭との頻繁な連絡が行われます。子どもの遅刻や欠席は必ず電話か、予めわかっている場合は連絡帳などを使って届けなければなりません。また、終業時間まで子どもは学校外に出ることはできませんので、特別の事情や具合が悪くなって早退するときなどは親の迎えが必要になります。

この他に、クラスには「電話連絡網」というものがあり、これは学校や担任からの緊急の連絡を家庭から家庭へと電話で伝えていく連絡手段です。「電話連絡網」で連絡が回ってきたら、次の人に必ず回さなければなりません。日本語の問題などで不安な場合は前もって担任に言っておくといいでしょう。

都要从家长中选出数名 PTA 的代表（役員）。PTA 所从事的活动，有着地域性差异，但一般所开展的工作，大概如开办及主持家长会、举办学年联谊会、演讲会、举办学习会、制作宣传报及宣传、举办讲座及运动大会、为校园除草、为确保孩子们的安全，在学区内巡逻等。另外，除了为了确保上下学孩子们的交通安全，家长们要交替着在人行横道附近站岗监督以外，还要作“铃铛标记”委员（收集、计算及整理铃铛标记：铃铛标记运动为 PTA 与各企业在相互协作的条件下开展的事业，PTA 将商品包装纸上的铃铛标记收集起来，可以用它购买一些教学必备物品）等。

孩子在校期间，这样的工作，一般地说家长们每人至少要分担一次以上（有兄弟姐妹的话，或许轮到自己的次数会多一些，任期大致为一年）虽然当学校的役員，对有些有工作的家长来说，的确不失为一种不小的负担，但如果不是有什么特殊原因的话，是很难推卸的。若是有什么语言困难或特殊原因的话，最好是与老师及班级委员商量解决。

不过，参加学校及 PTA 的活动，不仅可以知道自己孩子的表现，而且还是一个对日语及日本社会进行学习了解的机会。若有什么工作是您力所能及的，我们劝您不妨挑战一番。

孩子的日语学习如何是好呢？

来日本不久的孩子，最让人担心的就是日语问题。要是孩子的日语能力无法让他/她跟上班级的课程，那要怎么办才好呢？有些地方的自治体及学校，拥有为那些不以日语为母语的孩子们开设的日语教室及日语指导。特别是外国学童多的小学校、初中，有些在校内就有类似的教室或指导；或者是让这些学童前去附近有日语指导的学校接受补习。另外，也有派遣指导员前往孩子所在学校，每天进行数小时辅导的地区。

由于此种形式的日语辅导，存在着地区性差异，因此请您向学校的老师打听，或是在入学前，向当地的教育委员会咨询。（参考由スリーエーネットワーク刊行的《为了巴西人及小学教师在校生活的完整指南》等）

◆ 親の出番！

子どもが通う学校とはいえ、結構親の出番が多いのも日本の学校の特徴です。行事参加の他にも、学校での保護者の仕事というものがあります。日本の学校には P T A という親と教師の会があります（学校によっては名称が違います。ない学校もある）。子どもたちのことを考え、それに必要と思われる活動を行うのが P T A の役割です。この組織を運営するために、各クラスの中で P T A の代表者（役員）を学年が変わる毎に数名選ぶのが一般的です。P T A の行事としては、地域によって様々ですが、例としては、保護者懇談会の運営や司会、学級親睦会、講演会・勉強会の開催、広報の作成、講習会の開催、スポーツ大会、校庭の草刈り、子どもの安全管理のための学区内パトロール等があります。また、子どもの通学路で交通安全のために横断歩道などに保護者が交替で立つ他、ベルマーク委員（ベルマークの集計や整理を行う：ベルマーク運動）は P T A と企業が提携して行っている事業で、商品についているベルマークを P T A が集めると学校に必要な備品を購入することができる）等の役割もあります。

これらの仕事を在学中に 1 回以上（兄弟姉妹がいる場合は複数回回ってくることも。任期は大体 1 年間）は分担するのが一般的なようです。仕事を持つ親にとってはこれらの役割は負担が大きい場合もありますが、委員は、ほとんどの事情がない限りやらずに済ませるのは難しいようです。言葉の問題や特別な事情がある場合は、先生やクラスの委員の人と相談してみるといいでしょう。

しかし、学校行事や P T A などの場へ参加することは、子どもの様子がわかるだけでなく日本語や日本社会について知る機会にもなります。自分がやれそうなことに一度は挑戦してみましょう。

にほんご がくしゅう

日本語の学習はどうすればいいの？

らいにちま こ ばあい しん
 来日間もない子どもたちの場合、いちばん心
 ばい にほんご もんだい がっこう じゅぎょう
 配なのは日本語の問題ですね。学校の授業に
 にほんご ちから た ばあい
 ついていく日本語の力が足りない場合、どうす
 ればいいでしょうか。自治体や学校によっては、日
 ほんご ほんご ほんご こ にほんご きょうしつ
 本語を母語としない子どものための日本語教室
 にほんご しどう おこな
 や日本語指導を行っているところもあります。
 とく がいこくじんじどうせいと おお しょうちゅうがっこう
 特に外国人児童生徒の多い小中学校には
 こうない ば しゅうへん がっこう
 校内にそのような場があったり、周辺の学校
 きょうしつ がっこう かよ
 から教室のある学校に通うこともあります。ま
 しどうきょうりよくしゃ こ ざいせきこう で
 た、指導協力者が子どもたちの在籍校に出
 お いちにち すうじかんしどう
 向いて一日に数時間指導するということもあ
 ります。

ちいき しじょう こと がっこう
 地域によって事情は異なりますので、学校
 せんせい たず へんにゆうがくまえ きょういくいん
 の先生に尋ねるか、編入学前に教育委員
 かいとう たず すりーえーねっと
 会等に尋ねてみてください。(スリーエーネット
 わーくかん ぶらじるじん しょうがっこうきょうし
 の学校生活まるごとガイド』他を参考にしま
 した)

